

令和元年度「後期」学校評価の分析と考察

◆成果（良い点）

- 学校の評価として、「情報発信」や「指導方針」「特色ある教育活動」の項目については、前期よりも向上しており、本校教育活動について、少しずつ理解していただいていると感じています。特に、地域の方からの評価が、「情報発信」が3.0→3.6、「指導方針」「特色ある教育活動」が3.4→3.7へと大きく向上しており、ご理解いただいていることに深く感謝申し上げます。
- 生徒の評価では、「学習用具忘れず積極的な学習」「毎日の家庭学習」の項目については、前期より0.1ポイントずつ上昇しています。
- 「朝読書」の項目について、生徒、保護者、職員の三者とも、前期より高い評価をしており、平均も0.1ポイント向上しています。
- 教師の評価は、「授業形態」「授業内容」「生徒指導」など「教師の指導」の項目についても、平均で3.5～3.7ポイントと非常に高い評価となっています。
- 地域の方からも、「学校の指導方針」や「安全管理」、「人権教育」の項目について、3.4以上の高い評価をいただいています。

◆課題（改善すべき点）

- 生徒の評価で、「挨拶や言葉遣い」、「行事への参加」の項目が、前期に比べて0.2ポイントほど低下しています。このことは、昨年度まではなかった現象であり、原因を明らかにしていきたいと思えます。
- 「教師は生徒に公正・公平に接している」の項目で、生徒の評価が、前期3.0から後期2.8へ下がっています。授業では、全校的な学力向上を図るため、個に応じた指導やT・T（複数教師による指導）授業など授業形態や指導の工夫を行っていますが、このことが生徒に正しく認識されていないことが一因としてあるのかもしれません。

【総括】

学校全体の平均は、「3.3」でした。年間を通じて見ると、生徒たちは落ち着いた学校生活を送れていることが推察されます。しかし、生徒や保護者の評価は、職員や地域の評価に比べると低い項目が多く、四者の意識のずれが感じられます。学校と家庭との信頼関係を深めるためにも、今後さらに教職員間の意志の疎通と共通理解を深め、保護者や生徒への丁寧な説明や指導・対応などを一層適切に進めていかなければならないと考えます。学校や生徒のことで、何か不安やご心配な点がございましたら、いつでも担任や学校にご相談ください。

また、ご指摘をいただいた点については、教職員間で協議し、改善に努めて参ります。

今後ともよりよい生徒の成長のために、教職員全員で頑張りますので、ご理解とご支援のほどをよろしくお願いいたします。